

令和6年度 シラバス

| | | | | | |
|-------------------------------------|---|---|--|-----|---|
| 教科名 | 芸術 | 科目名 | 書道I (1年次) | 単位数 | 2 |
| 授業形態 | 実 技 | | | | |
| 選んでほしい生徒 | 書くことや文字の歴史などに興味があり、学びたいという生徒 | | | | |
| 科目の目標 | 書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方をはたらかせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。 | | | | |
| 身に付けてほしい学力 | <ul style="list-style-type: none"> ・漢字仮名交じりの書、漢字の書、仮名の書に関する表現や鑑賞活動を通して、基本的な能力と態度を養う。 ・書の表現や鑑賞の幅広い活動を通して、自らの学習の成果を実感するとともに、書を学ぶことの意義や価値を自覚し、書ならではの見方・考え方を身に付け、これからの学習や生活の中で生かす。 | | | | |
| 学習計画 | 単元・教材 | | 学習のあらまし | | |
| | <p>【1学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 書道から書写へ 2 楷書の学習 <p>【2学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 3 行書の学習 4 草書の学習 5 隷書の学習 6 篆書の学習 (篆刻) <p>【3学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 7 仮名の書の学習 8 漢字仮名交じりの書の学習 | | <ul style="list-style-type: none"> ・書の特質や学習の全体像を把握する。 ・各古典を字形の特徴と用筆・運筆との関わりからとらえ、臨書活動を通して、意図に基づいて表現するための基礎的な技能を身に付ける。 ・仮名の書特有の用具・用材と基本的な筆使いを学ぶ。また、平仮名の単体、変体仮名、連綿の筆使いに慣れ、基本的な用筆法を習得する。 ・これまでに学習した漢字及び仮名の古典の学習をもとに、その表現を応用した漢字仮名交じりの書の制作を行う。 | | |
| 評価の観点・評価方法 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 ・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わいとらえたりしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。 | | |
| 上記の観点を踏まえ、提出作品、授業態度等を総合的に判断して評価を行う。 | | | | | |
| 学習のアドバイス | <ol style="list-style-type: none"> 1 用具の準備・片付けはきちんと行い、気持ちの良い環境で活動しよう。 2 技法の習得においては、自分の解決すべき課題や問題点を見極めながら練習する習慣を身に付けよう。 3 定期考査を実施しない分、それぞれの作品の完成度を高め、未提出作品がないよう気を付けよう。 | | | | |
| 教材費 | 約4,500円 | | | | |
| その他 | 特記事項なし | | | | |

令和6年度 シラバス

| | | | | | |
|-------------------------------------|---|--|--|-----|---|
| 教科名 | 芸術 | 科目名 | 書道Ⅱ（2年次） | 単位数 | 3 |
| 授業形態 | 実技 | | | | |
| 選んでほしい生徒 | 書道Ⅰを履修済みで、さらに高い表現技術を高めたいと思う生徒 | | | | |
| 科目の目標 | 1 書道の創造的な諸活動をとおして、書を愛好する心情を育てる。 2 書を楽しむ態度をとおして感性を高め、書の文化や伝統についての理解を深める。 3 1と2の学習をとおして、個性豊かな表現の能力と書的美しさを感じ取る鑑賞の能力を伸ばす。 | | | | |
| 身に付けてほしい学力 | ・用具用材や表現形式等の取り扱い範囲を広げ、書之美について、様々な角度から学習する。 ・書の各分野について、より幅広く深く学習する。 | | | | |
| 学習計画 | 単元・教材 | | 学習のあらまし | | |
| | 【1学期】 1 篆書の学習 2 篆刻の学習 3 隸書の学習 【2学期】 4 草書の学習 5 行書の学習 6 楷書の学習 【3学期】 7 仮名の書の学習 8 漢字仮名交じりの書の学習 | | ・各古典を字形の特徴と用筆・運筆との関わりから捉え、臨書活動をとおして、意図に基づいて表現するための基礎的な技術を身に付ける。 ・仮名の書特有の用具・用材と基本的な筆使いを学び、片仮名・変体仮名・連綿等の基本的な用筆方法を習得する。 ・これまでに学習した漢字・仮名の古典古筆の学習をもとに、その表現を応用した漢字仮名交じりの書の制作を行う。 | | |
| 評価の観点・評価方法 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 | | |
| | ・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について理解を深めている。 ・書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための技能を身に付け、表している。 | ・書よさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書之美を味わい深く捉えたりしている。 | ・主体的に書の表現及び鑑賞の創造的な活動に取り組もうとしている。 | | |
| 上記の観点を踏まえ、提出作品、授業態度等を総合的に判断して評価を行う。 | | | | | |
| 学習のアドバイス | 1 用具の準備・片付けはきちんと行い、気持ちの良い環境で活動しよう。 2 技法の習得においては、自分の解決すべき課題や問題点を見極めながら練習する習慣を身に付けよう。 3 定期考査を実施しない分、それぞれの作品の完成度を高め、未提出作品がないよう気を付けよう。 | | | | |
| 教材費 | 約4,000円 | | | | |
| その他 | 特記事項なし | | | | |

令和6年度 シラバス

| | | | | | |
|-------------------------------------|---|---|--|-----|---|
| 教科名 | 書道 | 科目名 | 書道概論（2年次） | 単位数 | 4 |
| 授業形態 | 理論の学習と実技 | | | | |
| 選んでほしい生徒 | 書道 I を履修済みの人が望ましい。 | | | | |
| 科目の目標 | 基本となる書道理論の理解を通して、表現と鑑賞の能力を養い、実技能力を高める。 | | | | |
| 身に付けてほしい学力 | <ul style="list-style-type: none"> ・書の基本となる理論の学習を通して、芸術における書道の意義や理解を深める。 ・文字の構造や歴史について学習し、豊かな表現活動の基礎的な力を身に付ける。 | | | | |
| 学習計画 | 単元・教材 | | 学習のあらまし | | |
| | <p>【1学期】</p> <p>1 楷書の学習</p> <p>2 行書の学習</p> <p>3 篆刻の学習</p> <p>【2学期】</p> <p>4 刻字の学習</p> <p>5 仮名の書の学習</p> <p>【3学期】</p> <p>6 漢字仮名交じり作品制作</p> <p>7 実用の書の学習</p> | | <ul style="list-style-type: none"> ・古典の臨書・鑑賞 ・楷書の創作作品制作 ・古典の臨書・鑑賞 ・行書の創作作品制作 ・さまざまな印 ・姓名印の制作 ・セラミックボードによる刻字 ・作品鑑賞 ・古典の臨書・鑑賞 ・漢字仮名交じり作品の鑑賞 ・草稿、制作 ・鑑賞 ・葉書文の書き方 ・手紙文の書き方 | | |
| 評価の観点・評価方法 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・書道に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深めるとともに、表現意図を書道で表すために必要な技能を身に付けている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・書道に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ、創造的に思考、判断し、表現している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に書道に関する専門的な学習に取り組もうとしている。 | | |
| 上記の観点を踏まえ、提出作品、授業態度等を総合的に判断して評価を行う。 | | | | | |
| 学習のアドバイス | <p>1 用具の準備・片付けはきちんと行い、気持ちの良い環境で活動しよう。</p> <p>2 幅広い理論と技能を身につけ、個性豊かな表現をしよう。</p> | | | | |
| 教材費 | 約5,000円 | | | | |
| その他 | 特記事項なし | | | | |

令和6年度 シラバス

| | | | | | |
|-------------------------------------|---|---|--|-----|---|
| 教科名 | 書道 | 科目名 | 書道表現A(3年次) | 単位数 | 2 |
| 授業形態 | 実技 | | | | |
| 選んでほしい生徒 | 書道Iを履修済みの人が望ましい。 | | | | |
| 科目の目標 | 文字造形の基本となる諸要素についての感覚を養い、創造的な構想と構成の能力を育成する。 | | | | |
| 身に付けてほしい学力 | <ul style="list-style-type: none"> 文字造形の基本となる諸要素について分析する。 漢字の書、仮名の書、漢字仮名交じりの書の学習を通して、多様な表現活動を学習する。 | | | | |
| 学習計画 | 単元・教材 | | 学習のあらまし | | |
| | <p>【1学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 楷書の学習 行書の学習 草書の学習 <p>【2学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 篆書の学習 隷書の学習 仮名の書の学習 <p>【3学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 漢字仮名交じりの書の学習 | | <ul style="list-style-type: none"> 書の特質や学習の全体像を把握する。 各古典を字形の特徴と用筆・運筆との関わりから捉え、臨書活動を通して、意図に基づいて表現するための基礎的な技能を身に付ける。 仮名の書特有の用具・用材と基本的な筆使いを学ぶ。また、平仮名の単体、変体仮名、連綿の筆使いに慣れ、基本的な用筆法を習得する。 これまでに学習した漢字・仮名の古典古筆の学習をもとに、その表現を応用した漢字仮名交じりの書の制作を行う。 | | |
| 評価の観点・評価方法 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。 | <ul style="list-style-type: none"> 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりしている。 | <ul style="list-style-type: none"> 主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。 | | |
| 上記の観点を踏まえ、提出作品、授業態度等を総合的に判断して評価を行う。 | | | | | |
| 学習のアドバイス | <ol style="list-style-type: none"> 用具の準備・片付けはきちんと行い、気持ちの良い環境で活動しよう。 技法の習得においては、自分の解決すべき課題や問題点を見極めながら練習する習慣を身に付けよう。 定期考査を実施しない分、それぞれの作品の完成度を高め、未提出作品がないよう気を付けよう。 | | | | |
| 教材費 | 約4,000円 | | | | |
| その他 | 特記事項なし | | | | |

令和6年度 シラバス

| | | | | | |
|--|--|--|---|-----|---|
| 教科名 | 書道 | 科目名 | 書道表現B (3年次) | 単位数 | 4 |
| 授業形態 | 実技 | | | | |
| 選んでほしい生徒 | 書道Iを履修済みの人が望ましい。 | | | | |
| 科目の目標 | 実用的な書式や、文字を使用した様々な表現とその理解を通して、実践的な書表現の態度を育成する。 | | | | |
| 身に付けてほしい学力 | 生活の中で生かせる書表現の様々な形態について理解を深め、その技術の向上を目指す。 | | | | |
| 学習計画 | 単元・教材 | | 学習のあらまし | | |
| | <p>【1学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 篆書の学習 2 隸書の学習 3 楷書の学習 4 行書の学習 5 草書の学習 <p>【2学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 6 篆刻の学習 (姓名印の制作) 7 漢字仮名交じりの書の学習 8 刻字の学習 9 地域の書の学習 10 商業書道の学習 <p>【3学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 11 実用の書の学習 | | <ul style="list-style-type: none"> ・古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身に付ける。また、古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。 ・姓名印の制作を行う。 ・セラミックボードによる刻字と作品鑑賞を行う。 ・生活の中の漢字仮名交じりの書の鑑賞し、全紙で漢字仮名交じり書の創作を行う。また、裏打ちを行い、表装について学ぶ。 ・葉書文や手紙文の書き方をはじめ、実用的な書について学ぶ。 | | |
| 評価の観点・評価方法 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 ・書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。 | | |
| 上記の観点を踏まえ、提出作品、鑑賞プリント、授業態度等を総合的に判断して評価を行う。 | | | | | |
| 学習のアドバイス | <ol style="list-style-type: none"> 1 用具の準備・片付けはきちんと行い、気持ちの良い環境で活動しよう。 2 幅広い表現理論と技能を身に付け、個性豊かな表現をしよう。 3 定期考査を実施しない分、それぞれの作品の完成度を高め、未提出作品がないよう気を付けよう。 | | | | |
| 教材費 | 約4,500円 | | | | |
| その他 | 特記事項なし | | | | |

令和6年度 シラバス

| | | | | | |
|--|--|--|---|-----|---|
| 教科名 | 書道 | 科目名 | 実用の書-(3年次) | 単位数 | 4 |
| 授業形態 | 実 技 | | | | |
| 選んでほしい生徒 | 書道 I を履修済みの人が望ましい。 | | | | |
| 科目の目標 | 書道における基本理論の理解を通して、実用書における表現と鑑賞の能力を育てる。 | | | | |
| 身に付けてほしい学力 | <ul style="list-style-type: none"> ・書道における基本理論の学習を通して、芸術における書道の理解を高める。 ・生活の中の実用的な書を学習し、硬筆書写検定3級合格を目指す。 | | | | |
| 学習計画 | 単元・教材 | | 学習のあらまし | | |
| | <p>【1学期】</p> <p>1 硬筆の学習 楷書、行書の基本点画 葉書、掲示物の書き方 理論（部分の名称、筆順、草書、常用漢字について）</p> <p>【2学期】</p> <p>2 仮名の学習 平仮名、片仮名の字源と成り立ち いろは歌、変体仮名、連綿 漢字と仮名の調和</p> <p>3 実用の書の学習（1） 表書きの書き方（慶事、弔事） その他の贈り物</p> <p>【3学期】</p> <p>4 実用の書の学習（2）</p> | | <ul style="list-style-type: none"> ・硬筆を用い、硬筆検定に必要な技術を身に付ける。 ・仮名の字源や字形、漢字と仮名の調和について学習する。 ・筆ペンを用い、さまざまな基本的書式を理解し日常生活に生かす技術と態度を身に付ける。 ・手紙文の書き方を学習する。 | | |
| 評価の観点・評価方法 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・実用的な表現をするために、形式や表し方を理解し、目的や用途、意図に応じた効果的な表現の技能を身に付けている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの形式と表し方を判断し、文字の大きさ、配列、書式など、それぞれに適した表現について構想し工夫している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・実用的な形式と表し方について基礎的な事項を理解し、自ら表現の学習活動に取り組もうとしている。 | | |
| 上記の観点を踏まえ、提出作品、鑑賞プリント、授業態度等を総合的に判断して評価を行う。 | | | | | |
| 学習のアドバイス | <ol style="list-style-type: none"> 1 用具の準備・片付けはきちんと行い、気持ちの良い環境で活動しよう。 2 幅広い表現理論と技能を身に付け、個性豊かな表現をしよう。 | | | | |
| 教材費 | 約4,000円（上記の教材費と検定代を含む） | | | | |
| その他 | 硬筆書写技能検定3級を一学期末考査で受験する。 | | | | |